

大会日程 第1日 10月31日(土) 13:00~19:30

■受付開始 12:30~ [東京藝術大学上野キャンパス 5-109 教室]

■公開講演会 [5-109 教室]

13:00	開会の辞 会長 塚原康子 挨拶 東京藝術大学副学部長 杉本和寛
13:10	公開講演会「大学における世界音楽の実践」 ➡4-6 頁 「日本の大学における世界音楽の実践をめぐって」 植村幸生 (東京藝術大学教授) 「日本および海外でのガムランの実践」 皆川厚一 (神田外語大学教授) 「越境する日本伝統音楽——海外の大学カリキュラムにおける雅楽——」 寺内直子 (神戸大学教授)
14:50	司会: 植村幸生

■公開演奏会 [第6ホール]

15:00	公開演奏会「大学に響く世界の音楽——東京藝術大学大学院修了者による演奏会——」 ➡7-9 頁
	演奏: 毛丫 (中国古箏)、劉丹 (中国琵琶)、マキシム・クリコフ (バラライカ)、 ウメトバエワ・カリマン (コムズ)、サワン・ジョシ (シタール)
16:00	司会: 増野亜子 (東京藝術大学非常勤講師)

■田邊尚雄賞授賞式、定時社員総会 [第6ホール]

16:10	第32回田邊尚雄賞授賞式 受賞者 塚田健一 受賞対象 「アフリカ音楽学の挑戦——伝統と変容の音楽民族誌——」 (京都: 世界思想社、2014年2月)
16:30	
16:40	第4回定時社員総会 ➡45 頁
17:30	

■懇親会、田邊尚雄賞受賞祝賀会 [大学会館キャッスル食堂]

17:40	
19:30	懇親会、田邊尚雄賞受賞祝賀会

大会日程 第2日 11月1日(日) 09:00~17:50

■受付開始 08:30~ [東京藝術大学上野キャンパス 5号館4階]

■研究発表 [A会場:5-401教室、B会場:5-408教室、C会場:5-409教室]

午前の部 9:00~12:10

研究発表1			
	1-A [5-401教室]	1-B [5-408教室] 司会:加納マリ	1-C [5-409教室] 司会:濱崎友絵
09:00	[共同発表] →10頁 トゥバの楽器文化にみる専門化と国際化	木岡史明 →11頁 二代目哥澤土佐の音楽的特徴	三代真理子 →14頁 ユダヤ人の伝統的な結婚式におけるクレズメルの音楽の社会的機能と音楽的特徴
09:30	山下正美(代表)、ウメトバエワ・カリマン、ヴァレンティナ・スズケイ(非会員)	鎌田紗弓 →12頁 戦前の歌舞伎囃子における能管——『黒美寿』を中心に——	飯野りさ →15頁 旋法体系の構造——アラブ・中東の歴史・社会・文化などを加味した多元的文脈で考える——
10:00		三浦裕子 →13頁 シテ方観世流能楽師・五三世梅若六郎と横浜——素人弟子とのかかわり合いを中心に——	松本奈穂子 →16頁 オスマン朝末期の楽譜

10:30~10:40

休憩

研究発表2			
	2-A [5-401教室]	2-B [5-408教室] 司会:丸山洋司	2-C [5-409教室] 司会:永原恵三
10:40	[セッション] →17頁 長唄の作詞者について 配川美加(代表)、 稀音家義丸(非会員)、星野厚子	岡田恵美 →18頁 ポップカルチャーとしての部族民謡の再生——インド北東部ナガランド州チャケサン族のポリフォニー《Li》からの考察——	尾高暁子 →21頁 東京音楽学校で学んだ中国人留学生の帰国後の活動について
11:10		柚木かおり →19頁 文化の担い手の創造——ロシアの民俗バラライカの再興を事例として——	彭泓 →22頁 李叔同の歌曲創作と日本留学
11:40		相田豊 →20頁 生きられた楽器の研究に向けて——南米アンデス地域における伝統楽器の製作、流通、使用、廃棄に関する試論——	山下暁子 →23頁 パカワリー舞踊音楽学校におけるタイ伝統音楽の実践

12:10~13:00

昼食休憩

※休憩場所(昼食、喫茶)として、5-301教室・5-311教室をご利用ください。

※昼食時は、混雑緩和のため、4階の各教室も適宜ご利用ください。

※書籍販売は、3階で行います。

午後の部 13:00~17:50

研究発表3			
	3 A [5-401教室]	3 B [5-408教室] 司会：寺内直子	3 C [5-409教室] 司会：横井雅子
13:00	[パネルディスカッション] →24頁 伝統音楽研究における定量的アプローチの可能性と課題	金志善 →25頁 植民地朝鮮における邦楽の公演空間——京城府民館での公演を中心に——	渡邊佐恵子 →28頁 明治期の手風琴の曲集の関係性——その記譜法の分類から——
13:30	——インド音楽世界の動向を事例として—— パネリスト代表：田森雅一 パネリスト：寺田吉孝、田中多佳子、小日向英俊、竹村嘉晃	山本華子、金奎道 →26頁 韓国地方国楽院における国楽振興の役割と実状について——国立民俗国楽院、国立南道国楽院、国立釜山国楽院を例に——	齊藤紀子 →29頁 住吉村におけるピアノの普及——三木楽器の帳簿(1902-1940)をもとに——
14:00		高橋美樹 →27頁 田辺尚雄の沖縄・八重山諸島音楽現地調査(1922年)——「田辺文庫」を基礎資料として——	栗山新也 →30頁 三線の仲買人「三線バクヨー」の商世界

14:30~14:40

休憩

研究発表4			
	4 A [5-401教室]	4 B [5-408教室] 司会：尾高暁子	4 C [5-409教室] 司会：配川美加
14:40	[パネルディスカッション] →31頁 東南アジア諸地域のゴング文化の相互関連	仲辻真帆 →32頁 乗杉嘉壽編『音楽』の特性と意義——1930~40年代の東京音楽学校をとりまく状況とともに——	コリーン・シュムコー →35頁 現代合奏作品における「三味線らしさ」——中島勝祐作曲《西鶴一代女》の分析を中心に——
15:10	企画・司会：福岡正太 パネリスト：柳沢英輔、福岡まどか、梅田英春、藤岡幹嗣(非会員)	橋本久美子 →33頁 乗杉嘉壽東京音楽学校長時代への敗戦後の視座の転換——「聯合軍總司令部ヨリノ指令」と小宮豊隆資料を手掛かりに——	佐藤岳晶 →36頁 松阪春栄の二面の箏による合奏のテクスチュアへの一考察——近世邦楽の音楽言語と作曲技法の創造的継承を探る——
15:40		笠井津加佐、笠井純一 →34頁 大阪北新地浪花踊の新史料をめぐると一考察	宮内基弥 →37頁 小泉文夫の理論に対する諸批判の考察

16:10~16:20

休憩

研究発表5			
	5 A [5-401教室]	5 B [5-408教室] 司会：小柴はるみ	5 C [5-409教室] 司会：樋口昭
16:20	[パネルディスカッション] →38頁 アジア・太平洋戦争期の南方向け音楽工作	井上航 →39頁 ゴング合奏と気分の問題——カンボジア北東部クルンの水牛/牛供儀から——	堀江将之 →42頁 越後磐女祭の祭文松坂における固定性と可変性——小林ハルの『葛の葉子別れ』を出発点として——
16:50	パネリスト代表：丸山彩 パネリスト：酒井健太郎、織田康孝(非会員)、松岡昌和(非会員)	マハバル・サウガレゲル →40頁 リンベによるオルティン・ドーの演奏法・循環呼吸法——オルティン・ドー「四季」の分析、実演を通して——	川崎瑞穂 →43頁 埼玉県秩父市旧荒川村の天狗信仰と音楽——徳丸流神楽と天狗祭りを事例として——
17:20		ツェルゲル →41頁 日本におけるモリンホール(馬頭琴)の受容に関する一考察	小尾淳 →44頁 「文化資源」としての楽曲にかんする一考察——近現代の南インド、タミル地方の宗教芸能の事例から——

17:50 閉会の辞 大会副実行委員長 植村幸生 5-401教室